

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 登別市住宅改良促進特別融資積立金
-------------------	-------------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	2	安定した企業活動を支える良好な経営環境の創出
主要な施策	2	経営基盤の強化
事務事業番号	003	事務事業コード 31322003 事業開始年度 昭和 1 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別 一般会計	予算書上の事務事業名 登別市住宅改良促進特別融資積立金
-----------	-----------------------------

部 名 観光経済部	グループ名 商工労政 G
-----------	--------------

統合前または名称変更前の事業名

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 登別市民(満20歳以上の方)
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 市内(一部市外)金融機関に一定額の資金を預託し、預託先金融機関がこの資金を原資として、住宅・バリアフリー・新エネルギー関連改良を行なう市民に、市内業者への発注を条件に低利で融資を行なう。 【資金種別】 住宅改良(融資限度額300万円・融資利率1.95%) バリアフリー改良(融資限度額300万円・融資利率1.75%) 新エネルギー関連改良(融資限度額300万円・融資利率1.75%)
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 住宅関連産業を振興するとともに、地場の新エネルギー産業を育成し市内経済の活性化を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市住宅改良促進特別融資要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	融資申請件数(当該年度)	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	0				
	融資実施件数(当該年度)	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	0				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	18,000	25,000	25,000	25,000	25,000	75,000
合 計				18,000	25,000	25,000	25,000	25,000	75,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	364	381			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		364	381			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市内業者への発注を条件とした低利な融資制度を設けることにより、市内業者への受注増加が図られ、経済が活性化される。また、障がい者や環境に配慮した住宅改良については、さらに利率が低く設定されている。地域の金融機関等と連携し実施している事業である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 本事業は、年度毎に成果を求める事業ではなく、市内の住宅関連業者の振興を図るため実施している。不安定な金融情勢の中、市の負担も少ない割に効果が得られる事業である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 本事業を広報等で周知するほか、地域の金融機関との連携を強化することで、市内の住宅関連業者の受注増加が見込まれる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 市内の住宅関連業者の受注の増加を図るための事業なので、厳しい市内経済の中で、現状からのコスト削減をすることは事業の質を低下するため難しいと判断している。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	登別市住宅改良促進特別融資要綱に基づき、市内の住宅関連業者の振興を図るために実施している事業である。近年の利用度は低い、金融政策の緩和による利率の上昇など、不安定な金融情勢の中、市の負担も少ない割りに効果が得られる事業と考えられる。今後も、本事業を継続する必要がある。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）